

令和3年6月30日
 武蔵野市障害者福祉センター
 あり方検討委員会（第2回）

障害者福祉センター利用登録団体アンケート集計

調査数 17（登録団体（16）＋視覚障害者協会）
 回答数 17
 回答率 100.0%

1 利用目的

場所	頻度	当事者団体	ボランティア 団体	合計
印刷室	月1回程度	1	2	3
	年8回程度	1		1
	年4～5回	1	1	2
	年数回	2	1	3
視聴覚室	月1回程度	1		1
	月2回程度	2		2
地下会議室	月1回程度	1		1
	月2回程度	2		2
	年5回程度		1	1
録音室	月8回程度		1	1
2階ロビー	年数回	1		1
コピー機	月2回程度	1		1
自動販売機		1		1
ロッカー		4	1	5

2 利用する理由（複数回答可）

理由	当事者団体	ボランティア団体	合計
①便利な場所にある	4	0	4
②使いやすい機器や部屋がある	7	3	10
③建物が使いやすい	3	1	4
④使い慣れている	11	4	15
⑤低料金で利用できる	7	3	10
⑥予約が取りやすい	9	4	13
⑦その他	1（静かでいい）	1（他に利用できる場所がなかった時）	2

3 利用できなくなると困ること（複数回答可）

困ること	当事者団体	ボランティア団体	合計
①他に使う場所がない	11	3	14
②団体の活動ができなくなる	7	2	9
③お金がかかるようになる	8	2	10
④その他	2 ・気兼ねない ・書類が入っているロッカーが使いえなくなるのが困る ・自販機がなくなると困る ・印刷機が使いえなくなると非常に困る	1 機材や郵袋の保管場所がなくなる。	3

4 他の活動場所

	当事者団体	ボランティア団体	合計
ある	2（コミセン、プレイス）	2（コミセン） 1（プレイス、市役所）	5
ない	10	1	11

5 センター利用時に不便なこと（複数回答可）

不便なこと	当事者団体	ボランティア団体	合計
①設備が古い	6	3	9
②廊下が狭く、見通しが悪い	3	0	3
③照度が暗い	6	2	8
④利用できない機器等がある	1	0	1
⑤予約が取りにくい	1	1	2
⑥交通の便が悪い	7	2	9
⑦その他	3 ・三鷹駅、あるいは吉祥寺駅から定時の送迎バスの運行を考えてもらおうと助かる。 ・駐輪場に屋根がない ・聞こえないため、廊下が暗く、見通しが悪いと、対向者とぶつかる。	1 ・ロッカーが古くなった。 ・部屋が狭い。（もう少し広いと良い）	4

6 必要と考える老朽化対応

老朽化対応	当事者団体	ボランティア団体	合計
①大規模改修	1	0	1
②改築	4	0	4
③改修・修繕	2	1	3
④移転改築	3	3	6
⑤その他	2 ・耐震の建物 ・障害者の利用施設なので、障害者の使いやすいように、交通アクセスのことを最重要課題として取り組んでほしい。	2 ・便利な場所に建ててほしいが無理な場合は改修でも構わない。 ・新築希望（よければもう少しアクセスのよいところへ）	4

7 センターに期待すること

【当事者団体】

<ul style="list-style-type: none">・いつも使わせていただけてありがたい。
<ul style="list-style-type: none">・トイレが使いづらい。一般用と障害者用を分けて欲しい。・地下にある印刷室は湿度が高めのように、印刷すると詰まりやすい。短縮するため、折りたたみ機械も新しくして欲しい。
<ul style="list-style-type: none">・この先も武蔵野市で暮らし続ける障害者は増え続けると予想される。障害者福祉センターと障害者総合センターの2つが障害者の地域で暮らす拠点として有効に利用できるようにしてもらいたい。・音楽療法活動は13年間障害者福祉センターを利用してきた。長い間利用させていただきありがとうございます。アンケートに回答したが、諸々の問題を解決して活動ができる場所は障害者福祉センターしかないというのが正直なところ。
今のままでよいと思う。
<ul style="list-style-type: none">・障害者とその関係者、市民に親しまれるセンターになってほしいと考えている。・山彦の会には長い間大変便利に有効に使わせて頂いてありがとうございました。今後も引き続き利用させていただきたいと思っている。
<ul style="list-style-type: none">・武蔵野市視覚障害者福祉協会の活動拠点として事務室が欲しい。・事務備品、各種イベントに使った品物などを保管するためのロッカーなどが欲しい。・現在、高齢者向けに老人マッサージを週1回、武蔵野市の委託事業として行っているが、視覚障害者の就労の場として、常設の施術室が欲しい。・録音、展示などの情報提供の発信の場として、一括して管理、運営をしたい。・視覚障害者向けの相談業務、同行援護のサービスの拠点として使いたい。
<ul style="list-style-type: none">・年齢制限をやめてほしい。できれば講習会は高齢者センターだと健常の方たちとの差がありすぎるので。・ロビーをくつろげる場所にしてほしい。
長年使わせていただき、ありがとうございます。 いつも丁寧に対応していただき、ありがたいです。 コロナのため、使用を見送っておりましたが、コロナがおさまりましたら、また使わせて頂きたいです。 今年度の総会は9月を予定しております。9月頃使用出来たらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。
<ul style="list-style-type: none">・トイレが使いづらい。一般用と障害者用（車椅子用）を分けて欲しい。扉を開き戸にして欲しい。・地下にある印刷室は湿度が高めのように、印刷すると詰まりやすい。短縮するため、折りたたみ機械も新しくして欲しい。・現在地は分かりづらいため、看板など行き先が分かるような表示があると良い。

【ボランティア団体】

・印刷以外では全くというほど利用していないのでなるべく駅に近いほうが利用者にとって便利だと思っている。
・会議等はコミセンを使用しているが、必要書類資料、総会資料等の印刷に主に印刷室を利用している。
・印刷機器を無料で利用できることは団体とっても大変ありがたい事なので、どういう形でも福祉センターをぜひ残していただきたい。

・コロナが収束したら会議室の定員数を増やしていただき、また活動拠点をセンターに戻したい。
・引き続きロッカーを利用したい。

この障害者福祉センターが出来た時に、はじめて活動拠点が出来て助かりました。防音されている録音室で大きなSONY1000Tのデッキを使い、交代で録音していました。ただ、初めは防音が完全ではなく、隣のピアノの音が入りました。更なる防音をお願いし、壁の間に金属（銅だったか忘れました。）を入れる工事をして、今の様になっています。

音の世界も技術の進歩は著しく、現在はデジ版（CD）が主流となり、録音もPCで自宅で作れるようになりました。今の録音室は主にCDをコピーしたり、テープをダビングして、利用者の方々に発送する作業が主になりました。それでも、近所で工事があると、自宅での録音が難しく、この録音室を使うこともあります。

再建にあたり、お願いしたいことは、活動の拠点としての場所を残していただきたいことです。

・活動に必要な機材（PC、コピー機、ダビング機、発送名簿、CD、テープなど）の保管。

・発送作業（コピー作業、ダビング作業、郵袋の保管）が出来る。

・録音室以外では、勉強会や養成講座が行える。

今まで私達の使用に配慮いただき、ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

・現在のセンターは全体として古く、使い勝手もよくない。建て替えをお願いしたい。場所も、できればもう少し便利でアクセスのよい場所だとよい。